

事業シート（概要説明書）						
事業名	津山老人福祉センターバス運行事業		担当部名	環境福祉部		
			担当課名	高齢介護課		
事業開始年度	昭和49年度					
根拠法令等						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託又は指定管理（委託先：両備ホールディングス㈱両備バスカンパニー津山観光センター） <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
事業概要	目的 (何のために)	津山老人福祉センター利用者(高齢者講座・ミニデイサービスの参加者、老人クラブ等)の交通手段を確保するため				
	対象 (誰・何を対象に)	津山老人福祉センター利用者(高齢者講座・ミニデイサービスの参加者、老人クラブ等)				
	事業内容 (手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> ・各種講座等の開催日(及び時間)に合わせて、定期的にバスを運行。 ・各地区老人クラブ等の団体利用時に、随時にバスを運行。 				
	事業の必要性	当初より、津山老人福祉センターの利用者(旧市内)の交通手段の確保のために運行している。				
【支出】		H19決算	H20決算	H21決算	H22予算	
事業費（直接経費）		千円	5,976	5,976	5,806	5,292
うち	嘱託職員・臨時職員等	従事者数	人			
		概算人件費	千円			
人件費	正規職員	従事者数	人	0.1	0.1	0.1
	(平均給与750万円換算)	概算人件費	千円	750	750	750
総事業費		千円	6,726	6,726	6,556	6,042
【収入】		H19決算	H20決算	H21決算	H22予算	
国・県からの補助金等		千円				
使用料・手数料		千円				
地方債		千円				
その他()		千円				
【収支】市の負担額（一般財源）		千円	6,726	6,726	6,556	6,042

事業シート（概要説明書）						
平成22年度 事業費内訳	内 容				金 額	
	バス運行委託料				5,292	千円
	-----					千円
	-----					千円
事業目的達成の ための活動指標	活 動 指 標 名	単 位	H20年度実績	H21年度実績	H22年度見込	
	利用者数	人	4,769	4,488	4,500	
単位当たりコスト	5,806 (千円) / 4,488 (人) = 1,293 (円) 【 H21年度実績 人件費を除く 】					
目指す成果 (今後どのように したいか)	施設が現形態で存続していく限り、この事業を存続していきたい。					
事業の 自己評価	事業目的の 達成状況	交通手段の少ない老人福祉センターの開設当時には、高齢者が津山老人福祉センターを利用するためにバスを運行する必要があった。初期の目的はほぼ達成されていると考えるが、依然として利用者の足の確保は必要である。				
	今後の事業 の方向性 (課題・改善 計画等)	利用者負担の考えを導入していきたい。(道路運送法との関連)				
比較参考値 (他自治体における 類似事業の例など)	津山市統計書より S47.12.31現在：人口 76,880人 高齢者 7,741人 高齢化率 10.06% H22.10.1現在：人口 108,123人 高齢者 26,952人 高齢化率 24.93% 【高齢者S47の約3.5倍】 公民館数 S47：12 H22：22 自動車(乗用車、軽自動車、自動二輪車等)登録台数 S47 32,153台 H20 100,960台 【S47の約3倍】					
特記事項 (事業の沿革等)						